

あらかわ地区まちづくり協議会
令和8年度 通常総会議事録

- 1 招集通知日 令和8年4月10日（全戸配布4月1日）
2 開催日時 令和8年4月24日 19時00分～20時33分
3 開催場所 村上市羽ヶ榎104番地25 荒川地区公民館 多目的ホール
4 代議員数 47人
5 出席者数 47人（うち委任状による出席1人、書面議決書提出による出席32人）
6 出席役員氏名
- | | | | |
|------|-------|------|-------|
| 理事長 | 江端栄作 | | |
| 副理事長 | 川村三千男 | 副理事長 | 小島喜久江 |
| 理事 | 酒井幸子 | 理事 | 平野路子 |
| 理事 | 三田康明 | 理事 | 須貝俊大 |
| 理事 | 菅沼利幸 | | |
| 監事 | 坂上正信 | 監事 | 遠山八重子 |

- 7 議長氏名 渡邊忠次（貝附区長）
8 議事録署名員氏名 量山芳明（十文字区代議員） 松崎正哲（鳥屋区代議員）
9 総会の経過と要領

定刻に至り、司会者・小柳康代（本協議会支援情報部会運営委員）が開会を宣し、事務局に本日の出席状況について報告を求めた。本件を受け事務局長・阿部正昭（地域振興課長・村上市役所荒川支所長）が出席状況を報告、出席代議員数は、書面を含め47名全員の出席となっており、本総会は有効に成立することを議場に告げた。

これを受け司会者は、本協議会理事長・江端栄作に挨拶を求め、理事長はこれをおこなった。その中で理事長は、当協議会の様々な事業協力を謝意を述べるとともに、現在第2次まちづくり計画が進行中であるとともに、発足から10数年が経過し、この間、社会情勢・集落環境・事業環境が変化多様化しており、これからも更なる協力を出席者をお願いした。

終わって司会者は、本日の資料の確認と、議事進行・質疑の留意点につき出席者に説明後、本総会に入る前に、議長の選任について如何様にすべきか出席者に諮ったところ、事務局一任の声があがり、議場の了承を受け、事務局長は当会代議員で貝附区長の渡辺忠次さんを指名、出席者全員の拍手をもってこれを承認し、渡邊忠次氏は議長席についた。

続いて司会者は、議事録署名人の選任について、同様に事務局一任とさせて頂きたい旨議場に伺い、異議なしの声を受け、事務局長は、議事録署名員には代議員から、十文字区の量山芳明氏、鳥屋区の松崎正哲氏を指名、出席者全員の拍手を以て承認した。

司会者は、以上をもって進行を議長に渡し、議長は議事に入る前に挨拶を行った。その中で議長は、出席者に円滑な議事進行への協力と、総会資料が事前配布され既に目を通し、内容周知がなされていることを前提とし、議案説明については要点を絞って行うよう事務局に指示するとともに、質疑の際は、挙手の上、行政区名と氏名を述べてから行うよう出席者に要望し議事に入った。

- 第1号議案 令和7年度収支更正予算の承認について
第2号議案 令和7年度事業報告について

第3号議案 令和7年収支決算の承認について

議長は、第1号議案から第3号議案までそれぞれ関連があるため一括上程する旨を述べ、出席者全員の同意を得た上で事務局に詳細の説明を求め、事務局は補正と収支決算に関しては一覧で表記しているため、先に第2号議案の事業報告から行うこととし、当報告を各部会理事がそれぞれ順にパワーポイントを使って報告を行った。(報告者:事業部会・酒井、育成部会・三田、支援情報部会・須貝、全体事業・鈴木(集落支援員)の順)

スライドが終了し次いで、支援員・鈴木が第1号議案、第3号議案について説明した。先に補正予算に関しては、収入で積立金の繰り入れは行わず全額補正減とすること、支出に関しては、ファンド事業の補正減により、備品購入費用等に対応、収支とも減額予算とした旨説明した。その後、第3号議案の収支決算について、収入と支出の主な科目と内容について説明を行い、最後に収支差額である次期繰越金につき説明をしたのち、令和7年度末現在の積立金の状況について説明を行い、第1号議案から第3号議案までの説明の終了を議長に告げた。

これを受け議長は、監事に対し監査の結果報告を求め、監事・坂上正信氏がこれを行った。坂上氏は、「令和8年4月6日、村上市荒川支所2階会議室において、会計及び事業に関する一切の書類の提出を求め、事務局立ち合いのもと厳正に監査を行った結果、適正に処理執行されている」と報告を行った。

議長は、出席者に対し質疑意見を求めたところ、代議員から次の意見が出された。

・熱心な報告を伺い、当協議会の活発な活動が見て取れたが、現在進行中の「第2次まちづくり計画、2030年の未来図」との関係・遂行状況はどのようになっているか簡単に伺いたい。

当意見に対し議長は、執行部に説明を求め、川村副理事長が次のとおり説明を行った。

・「現在当計画は3年目を迎え、各部会を中心に様々な事業に取り組んでいるが、外部環境の変化、内部環境の課題を深掘りし、住民各位に現状を伝え、更なる協力を以てこの計画を推し進めていきたい」と述べ、質問者はこれを了承した。

議長は、出席者に他の意見を求めたが特になく、3案は拍手多数、書面議決者多数をもって可決承認した。

第4号議案 令和8年度 事業計画の決定について

第5号議案 令和8年度 まちづくり協議会予算の決定について

議長は第4号議案と第5号議案は関連する議案であるため、出席者に一括上程したい旨諮ったところ、出席者全員の了承を以て事務局に対し説明を求め、事務局・鈴木はポイントを絞って説明を行った。

令和8年度事業計画については、概ね前年通りの事業を行う予定であるとした上で、①事業部会における「おらだりようしょ」プロジェクトの全体事業への移行 ②育成部会におけるファンド事業の審査の厳格化と中間チェックの実施 ③支援情報部会の主力事業「あらかわら版」の濃密かつコンパクト化、及び発行100号となる事 ④全体事業では「おらだり事業」の組み込み、拠点整備事業でのあら、ほっのエアコン増設工事、消防受信基幹設備の更新、ご近所ささえ〜る隊への参画関係、「あらかわチャレンジ」の継続課題及び荒川高校の取組支援の策定について説明した。

令和8年度当協議会の予算については、収入の部における「まちづくり交付金」増額の件、支出

の部では、「あら、ほっ」でのエアコン・防災機器の件、「おらだり基地」事業・運営に関する関連費用を事務局経費の中に「金屋地域活性化支援金」として計上等、収支合計として11,621,000円を予算計上したと説明後、令和8年度末における積立金の見込額について述べた。

本件につき議長は、出席者に対し意見を求めたところ、次の意見が出された。

・令和7年度の決算額(予算実績)に対し、令和8年度予算が多いと思われるが、その理由は何か。

議長は、本件につき事務局に説明を求め、事務局・上野は次のとおり説明を行った。

・諸物価の高騰(人件費、光熱費)が引き続き見込まれると判断し、昨年同様の予算とした。

議長は、出席者に他の意見を求めたが特になく、2案は拍手多数、書面議決者多数をもって可決承認した。

第6号議案 任期満了に伴う理事長、副理事長、監事の選任について

議長は本件を上程し、協議会規約第6条第2項の説明後、選任方法について議場に諮ったところ、事務局案の有無について意見があり、議長が事務局に尋ねたところ、事務局長から本日に至る経緯を説明後、次の人事案について発表を行った。

- ・理事長 川村 三千男 さん (新任・現副理事長)
- ・副理事長 小島 喜久江 さん (留任)
- ・副理事長 平野 路子 さん (新任・現部会理事)
- ・監事 坂上 正信 さん (留任)
- ・監事 遠山 八重子 さん (留任)

議長は、事務局長から説明のあった正副理事長・監事の選任につき、本件に関し人事案件であるため質疑省略を議場に伝えた後、本案の承認について議場に諮ったところ、異議なしの声を受け、事務局案を承認することとし、加えて書面議決者賛成多数であることを議場に伝えた。

議長はあらためて新役員をそれぞれ紹介し、新役員は起立してこれに答えた。その後、新役員を代表し川村三千男新理事長に挨拶を求め、新理事長は次のとおり挨拶を行った。(要点記載)

- ・スライドによる「荒川地区の集落別人口・世帯数(1戸当たりの家族構成)の合併前後比較」から見えてくるもの～全国的にもそうであるが、県市における「少子高齢化・人口減少」の波は当初を上回るペースで進んでおり、当地域においても、減少率は抑えられてはいるが、その流れは変わらない。このことに派生する課題に対し如何に取り組んで行くか、住民各位がこのことを自覚しながら、本会も課題解決に向けて取り組んで行かなければならない。
- ・「あらかわビジョンマップ 2030～創発のまち」は策定後3年を迎える。この未来図からすると、第2段階(フェーズ2)にあり、形作り期から共鳴を呼ぶ時期に差しかかっている。本年度は住民の意見を聴取しながら、各部会一丸となって課題解決に向け取り組むべく「ワークショップ」等を行いながら、住民目線で事業を行っていきたい。と力強く述べた。

挨拶のあと事務局長は、新役員の就任に関して、「被選任者は、本総会の翌日からその任にあたる」ことを説明した。

その他について

議長は本件について議場に伺ったところ特になく、続いて事務局に伺ったところ用意なく、本件に関して無しと認めた。

議長は、以上をもって議案の全部の審議を終了した旨を述べ、本日の慎重審議及び円滑な進行に対し感謝を述べ降壇した。

司会者は、議長に対しあらためて御礼を述べ拍手をもって感謝の意を表した。最後に司会者は、本協議会のプログラムの終了を告げ、閉会にあたって小島副理事長に挨拶を求め、小島氏は次のように述べた。


- ・まちづくり協議会は、各地域によって特色があり、事業等市全体で足並みを揃えることは難しい。山北地域においては「まちづくり協力隊」が活躍し、その後定住したケースもある。
- ・「あらかわらばん」は地域に明るい笑顔を届けるツールとして定着している。
- ・コロナ感染症の影響で、様々な活動が中断し、自身も3年間にわたり全く事業に参加できなかったが、これからは活動に加わっていきたい。
- ・本協議会の総会も十数年にわたって行われ、その繰り返しが歴史となって受け継がれている。
- ・今、世界情勢は目まぐるしく変化している。同じく地域においても多様化しており、私たちもこのことに対応していかなければならず、これによって時代・世代が受け継がれる。その意味においてもまちづくりは重要な事業と考える。

以上閉会挨拶を行い、令和8年度あらかわまちづくり協議会通常総会は終了した。
時に20時33分であった。

以上、議事の経過と要領について記載し、その正確なることを証するため、議長及び議事録署名人は次に署名押印する。

令和8年4月24日

議長 渡邊 忠次 

議事録署名人 量山 芳明 

議事録署名人 松崎 正哲 